

令和8年度 松本市立寿小学校 グランドデザイン

学校教育目標

目指す子ども像 「さあ、やってみよう」と取り組む子

明るい子ども

なかまのわをひろげる子ども

○友とかかわり合いながら力をつけ、共に伸びていく子ども

強い子ども

こころとからだをきたえる子ども

○粘り強く追究し、確かな力をつけていく子ども

考える子ども

自ら考え、人・もの・ことにはたらきかける子ども

○人・もの・こととつながる中で、考え、はたらきかける子ども

重点目標

「子どもとつくる 授業・活動」

自ら学ぶ子どもを育む

◆「子どもに委ねる」授業

- ・問いや願いからはじまり、追究の中で、わたしの言葉を表現していく主体的な学び
- ・探究活動への取組
- ・個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実による主体的・対話的で深い学び
- ・単元内自由進度学習
- ・「聞く力」「ことばの力」を身につけ、考え、表現する。
- ・ICT機器の活用

◆互いを認め合う学級 ～どの子ども安心する居場所づくり～

- ・自己肯定感のもてる学級づくり
- ・失敗を許す環境
- ・目指す自分の姿の具体化と自己評価
- ・道徳・人権教育の充実

◆交流活動

- ・児童会活動（自治的活動・試行錯誤して取り組む活動・異年齢児童の協力）
- ・「寿小学校なかよし宣言」の実行

自ら考える基盤となる力

○言語能力 ○問題発見・解決能力 ○情報活用力

一歩ふみ出す基盤となる力

○行動する力 ○対話する力 ○協調力

学び続ける教職員

◆資質能力を育むカリキュラム編成

- ・教科横断的なカリキュラム編成
- ・探究的な学習の位置づけ

◆個に寄り添う支援

- ・授業のユニバーサルデザイン化、合理的配慮の提供
- ・子どもの願い、困りに寄り添う⇒相談フローチャート
- ・学級専科経営をきき合う会による児童理解の促進

◆研究テーマ

「問いや願いをもち学びをデザインする子ども」
～子どもに委ねるための教師の在り方～

◆授業づくり（授業改善）

- ・目指す授業の共有 ・授業を見合う場の設定
- ・個別最適な学び、協働的な学びへの取組による、「子どもに委ねる授業」への挑戦

家庭・地域との連携

◇家庭と共にあゆむ学校

- ・学校運営、目指す子ども像の共有
- ・家庭と「共に育てる」姿勢
- ・家庭への情報発信
- ・PTA活動の支援

◇地域と共にあゆむ学校

- ・コミュニティスクールの活動の充実
- ・地域素材、地域人材の活用
- ・学校から地域に貢献できる取組の実施
- ・地域への情報発信
- ・幼保・小・中の連携推進

◇家庭・地域と共につくる安全・安心な学校

- ・健康教育、保健・安全指導
- ・感染予防、体力づくり
- ・引渡し訓練の実施

学びの柱

人・もの・こと とつながる学び

長野県 教育課程・学習指導改善の目標

- 子どもの多様性を包みこみ、「生きる力」を育む教育の推進
・問いのある授業 ・みんなの教育課程 ・つながる学校

学校長の願い（子どもの伸ばしたい力）

- ・自ら取り組み、課題を見出し、粘り強く追究して、問題を解決していく力
- ・互いの違いや良さを認め、相手を思いやり、共に力を合わせて取り組もうとする力

教職員の姿勢

- ・子ども第一、子どもが主人公・学び合い、学び続ける教職員集団

松本市教育大綱

「子どもが主人公 学都松本のシンカ」

- 一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び
 - 未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び
 - 自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び
- <重点>
- ①誰一人取り残すことのないシステムの構築
 - ②子どもにとって魅力的な学校環境の整備
 - ③「遊び」や「体験」を大切にしたい学びの拡充